



2019年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月10日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

定時株主総会開催予定日 2019年11月22日 配当支払開始予定日

2019年11月6日

有価証券報告書提出予定日 2019年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期の連結業績(2018年9月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	18,327	8.8	5,865	15.5	5,688	9.0	6,101	61.8
2018年8月期	20,102	17.1	5,080	19.2	5,221	12.9	3,770	13.7

(注) 包括利益 2019年8月期 3,552百万円 (15.7%) 2018年8月期 4,217百万円 (11.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年8月期	61.99		17.7	14.7	32.0
2018年8月期	38.31		11.8	14.5	25.3

(参考) 持分法投資損益 2019年8月期 9百万円 2018年8月期 百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	39,813	35,327	88.7	358.92
2018年8月期	37,683	33,546	89.0	340.83

(参考) 自己資本 2019年8月期 35,327百万円 2018年8月期 33,546百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年8月期	5,305	810	1,773	16,119
2018年8月期	5,569	144	1,146	12,032

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期		18.00		24.00	42.00	1,377	36.5	4.3
2019年8月期		30.00		30.00	60.00	1,968	32.3	5.7
2020年8月期(予想)		11.00		11.00	22.00		45.2	

(注) 1. 2019年8月期の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当7円が含まれています。

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年8月期(予想)の中間配当金及び期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2020年 8月期の連結業績予想(2019年 9月 1日～2020年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,040	0.5	2,940	1.2	2,819	3.5	2,213	45.1	22.49
通期	18,924	3.3	6,302	7.5	6,053	6.4	4,795	21.4	48.72

(注)1. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済み株式数(自己株式を除く)により算定しております。

2. 2019年10月7日の「ベトナム子会社の火災発生に関するお知らせ(第2報)」で公表したとおり、当該火災による業績等への影響は軽微であるため、本連結業績予想には考慮しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年8月期	106,911,000 株	2018年8月期	106,911,000 株
2019年8月期	8,484,435 株	2018年8月期	8,483,883 株
2019年8月期	98,426,724 株	2018年8月期	98,427,271 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	19
(1) 役員の異動	19
(2) その他	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国と中国による通商交渉の長期化、EUにおける英国離脱問題に加え、米国による対イラン追加制裁などの地政学的な緊張の高まりもあり、先行きが懸念されております。国内経済におきましては、日韓関係の悪化による貿易への影響が懸念される一方で、雇用情勢や所得環境が改善し、全体としては穏やかな回復基調となりました。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、現地販売拠点を中心にマーケティングの強化を図り、各国におけるユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めた結果、サージカル関連製品の売上を増加させることができました。一方、デンタル関連製品においては、Schütz Dental GmbHの株式譲渡に伴い売上が減少したことで、全体としては減収となりました。

生産面においては、新工場であるベトナムフーエン第2工場（アイレス針関連製品向け）での増産体制を構築すると共に、生産効率の向上及び短納期化を実現するため、第1工場（サージカル、デンタル関連製品向け）のレイアウト見直し、顧客への直接出荷体制を進めてまいりました。さらに、従来国内工場で行っていた品質向上及びコスト削減に向けた生産工程の改善についても、ベトナム主体で推進する体制を整備しました。

開発面においては、サージカル、アイレス針、デンタルの各セグメントの開発部門を集約させ、セグメントの枠を越えた技術交流・設備の共有化を図り、新製品開発体制を強化するとともに、ドイツの拠点とも先進国市場における新製品の売上拡大を目指して、より一層の技術交流ならびに情報共有を行いました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 18,327百万円（前年同期比 8.8%減）、営業利益はフーエン第2工場の増産体制構築に伴う売上原価率の改善ならびにSchütz Dental GmbHの株式譲渡に伴う販売費及び一般管理費の減少により 5,865百万円（同 15.5%増）、経常利益は営業利益が増加したものの為替差損が前年同期より増加したことにより 5,688百万円（同 9.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益はコーポレートガバナンス・コードの政策保有株式縮減の趣旨に沿った株式売却による投資有価証券売却益 2,750百万円の計上により6,101百万円（同 61.8%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

（サージカル関連製品）

欧州、北米地域で品質評価の高い眼科ナイフが好調に推移したことに加え、トロカールの売上高が増加したことから売上高は 5,444百万円（前年同期比 15.1%増）となりました。また、増産効果に伴い原価率が改善したこと及び利益率の高い製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は 1,802百万円（同 33.1%増）となりました。

（アイレス針関連製品）

フーエン第2工場での増産体制の構築に伴い、アジアへの売上が好調に推移したものの、一部海外大口顧客における在庫調整の影響もあり、売上高は 5,754百万円（前年同期比 3.1%減）となりました。また、売上高は減少したものの、フーエン第2工場稼働によるアイレス針の生産が軌道に乗ったこと等から、セグメント利益（営業利益）は2,269百万円（同 0.4%増）となりました。

（デンタル関連製品）

ダイヤモンドの売上が海外で好調に推移した一方、Schütz Dental GmbH株式譲渡に伴う売上（前年同期におけるSchütz Dental GmbHの売上高 3,023百万円）の減少により、売上高は 7,128百万円（前年同期比 24.5%減）となりました。一方、ベトナムへの生産工程移管及び生産工程の見直しにより原価率が改善したこと等から、セグメント利益（営業利益）は 1,792百万円（同 22.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 2,129百万円増加し、39,813百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加した一方、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ 349百万円増加し、4,486百万円となりました。これは主に未払法人税等が増加した一方、繰延税金負債が減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 1,780百万円増加し、35,327百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

利益剰余金は、配当金1,771百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益6,101百万円が計上されたことに伴い、35,983百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前連結会計年度 金額 (百万円)	当連結会計年度 金額 (百万円)	増 減 金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,569	5,305	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	144	810	666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,146	△1,773	△627
現金及び現金同等物期末残高	12,032	16,119	4,086

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 4,086百万円増加（前期末比 34.0%増）し、16,119百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5,305百万円（前年同期比 4.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が増加した一方、投資有価証券売却損益が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、810百万円（前年同期比 462.4%増）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入が増加した一方、定期預金の預入による支出が増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,773百万円（前年同期比 54.7%増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

医療機器業界におきましては、国内外の医療機器を取り巻く環境は依然厳しく、今後も競争の激化が続くものと予想されます。

このような環境におきまして、当社グループは、引き続き製品毎に且つその製品の特性毎に「世界一の品質」を目指し、「世界のすみずみへ」提供する方針のもと、営業本部・開発本部が一体となり、新製品開発及びマーケティングの強化を図ってまいります。

売上高について、サージカル関連製品は前期に引き続き品質評価の高い眼科ナイフの売上増加を見込んでおりますが、アイレス針関連製品は当連結会計年度末より続いている海外大口顧客による在庫調整の影響が回復途上にあることから微増にとどまる見込みです。また、デンタル関連製品は中国をはじめとする新興国市場での拡販活動により、ダイヤバー、リーマ・ファイルの売上増加を見込んでおりますが、当社グループ内での利益率が相対的に低く、当社独自では品質改善が困難である歯科用実体顕微鏡、技工用ポイント及び歯科用イーザーポスの販売を当連結会計年度の受注残をもって終了すること等から減収を予想しております。

利益については、ベトナムMANI HANOI CO., LTD.の新工場本格稼働後のレイアウトの見直し及び工程改善による原価低減に加え、コスト削減及び短納期化のために設備の自動化及び省人化に努め、海外生産拠点での一層の品質向上と本格的な生産の効率化に取り組んでまいります。販売費及び一般管理費については、新製品開発及び販売子会社の体制強化ならびに販売・マーケティング活動の強化により増加が見込まれますが、海外生産拠点での生産効率の改善及びデンタル関連製品における取扱製品の見直しが営業利益率の改善に貢献するものと予想しております。

なお、当連結会計年度は政策保有株式縮減の趣旨に沿った株式売却により投資有価証券売却益2,750百万円の計上がありました。次期はこの影響が軽微となることから、親会社株主に帰属する当期純利益は減少する見込みです。

また、2020年8月期の連結業績予想におきましては、2019年10月7日の「ベトナム子会社の火災発生に関するお知らせ(第2報)」で公表したとおり、当該火災による業績等への影響は軽微であるため、本連結業績予想には考慮しておりません。

以上の状況を踏まえ、次期の業績見通しにつきましては、次のとおり予想しております。

なお、予想の為替レートについては、1ドル=105円、1ユーロ=120円、1元=15円を見込んでおります。

連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
2020年8月期 (予想)	18,924	6,302	6,053	4,795	48.72
2019年8月期	18,327	5,865	5,688	6,101	61.99
増減率(%)	3.3	7.5	6.4	△21.4	△21.4

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、中長期的には連結配当性向50%を目指しております。内部留保資金は顧客満足度向上のための品質研究投資、新製品・新技術開発のための研究開発投資、その新製品の生産設備投資、コスト競争力を高めるための海外生産拠点投資と国内合理化投資、販売子会社の体制強化ならびにマーケティング活動の強化に継続的に充てております。

当期の配当につきましては、当期業績を勘案しつつもこの方針に基づき、1株当たり60円(中間配当30円(普通配当23円、特別配当7円)、期末配当30円(普通配当23円、特別配当7円))と決定させていただきました。

また、当社は2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますので、次期の配当につきましては、この方針及び業績見通しを勘案し、1株当たり22円(中間配当11円、期末配当11円)とする予定であります。これを株式分割前の基準で換算すると6円増加の1株当たり66円となります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,065,220	16,909,148
受取手形及び売掛金	2,190,987	2,300,649
有価証券	—	1,088
商品及び製品	1,213,560	1,241,945
仕掛品	2,727,386	3,076,132
原材料及び貯蔵品	1,600,289	1,565,711
その他	452,694	341,015
貸倒引当金	△2,693	△3,238
流動資産合計	20,247,445	25,432,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,849,202	7,867,653
減価償却累計額	△3,652,007	△3,832,618
建物及び構築物（純額）	4,197,195	4,035,034
機械装置及び運搬具	10,013,007	9,941,853
減価償却累計額	△5,171,261	△5,377,863
機械装置及び運搬具（純額）	4,841,745	4,563,990
工具、器具及び備品	1,268,217	1,317,890
減価償却累計額	△974,402	△1,025,769
工具、器具及び備品（純額）	293,814	292,120
土地	1,146,656	1,132,979
建設仮勘定	387,286	533,843
有形固定資産合計	10,866,698	10,557,969
無形固定資産		
のれん	364,194	255,763
ソフトウェア	31,007	23,523
その他	520,142	642,472
無形固定資産合計	915,344	921,759
投資その他の資産		
投資有価証券	5,329,021	2,310,735
繰延税金資産	57,744	382,333
保険積立金	255,455	193,761
その他	11,783	14,466
投資その他の資産合計	5,654,005	2,901,296
固定資産合計	17,436,048	14,381,025
資産合計	37,683,494	39,813,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,865	182,854
未払金	831,653	818,296
未払法人税等	719,999	1,620,242
賞与引当金	546,296	387,075
その他	518,898	621,168
流動負債合計	2,755,713	3,629,637
固定負債		
繰延税金負債	680,863	—
役員退職慰労引当金	129,230	79,610
退職給付に係る負債	438,647	632,656
資産除去債務	111,298	112,562
その他	20,900	31,875
固定負債合計	1,380,939	856,703
負債合計	4,136,653	4,486,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	31,653,772	35,983,884
自己株式	△3,124,484	△3,125,424
株主資本合計	30,554,331	34,883,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,529,436	415,546
為替換算調整勘定	547,779	214,688
退職給付に係る調整累計額	△84,705	△186,600
その他の包括利益累計額合計	2,992,509	443,634
純資産合計	33,546,841	35,327,137
負債純資産合計	37,683,494	39,813,478

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
売上高	20,102,760	18,327,297
売上原価	8,129,464	6,700,549
売上総利益	11,973,295	11,626,748
販売費及び一般管理費	6,893,039	5,761,567
営業利益	5,080,255	5,865,180
営業外収益		
受取利息	30,763	62,791
受取配当金	49,063	35,819
投資事業組合運用益	15,898	13,972
作業くず売却益	19,450	19,661
その他	63,849	39,179
営業外収益合計	179,027	171,424
営業外費用		
支払利息	157	147
持分法による投資損失	—	9,116
為替差損	32,265	329,911
その他	5,408	8,503
営業外費用合計	37,830	347,679
経常利益	5,221,452	5,688,925
特別利益		
保険解約返戻金	53,726	98,594
固定資産売却益	3,549	378
投資有価証券売却益	488,493	2,750,170
特別利益合計	545,769	2,849,143
特別損失		
固定資産売却損	574	5,457
固定資産除却損	5,092	51,991
減損損失	287,000	34,367
固定資産撤去費用	—	18,601
関係会社株式売却損	285,629	—
役員退職慰労金	—	28,540
特別損失合計	578,296	138,958
税金等調整前当期純利益	5,188,925	8,399,109
法人税、住民税及び事業税	1,419,115	2,331,246
法人税等調整額	△1,068	△33,932
法人税等合計	1,418,047	2,297,313
当期純利益	3,770,877	6,101,796
親会社株主に帰属する当期純利益	3,770,877	6,101,796

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
当期純利益	3,770,877	6,101,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538,913	△2,113,889
為替換算調整勘定	△75,896	△328,008
退職給付に係る調整額	△16,866	△101,894
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△5,082
その他の包括利益合計	446,151	△2,548,875
包括利益	4,217,028	3,552,920
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,217,028	3,552,920

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2017年9月1日 至2018年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	988,731	1,036,311	29,031,213	△3,124,135	27,932,121
当期変動額					
剰余金の配当			△1,148,318		△1,148,318
親会社株主に帰属する当期純利益			3,770,877		3,770,877
自己株式の取得				△349	△349
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,622,558	△349	2,622,209
当期末残高	988,731	1,036,311	31,653,772	△3,124,484	30,554,331

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,990,522	623,675	△67,839	2,546,358	30,478,480
当期変動額					
剰余金の配当					△1,148,318
親会社株主に帰属する当期純利益					3,770,877
自己株式の取得					△349
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	538,913	△75,896	△16,866	446,151	446,151
当期変動額合計	538,913	△75,896	△16,866	446,151	3,068,360
当期末残高	2,529,436	547,779	△84,705	2,992,509	33,546,841

当連結会計年度（自2018年9月1日 至2019年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	988,731	1,036,311	31,653,772	△3,124,484	30,554,331
当期変動額					
剰余金の配当			△1,771,684		△1,771,684
親会社株主に帰属する当期純利益			6,101,796		6,101,796
自己株式の取得				△939	△939
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	4,330,111	△939	4,329,171
当期末残高	988,731	1,036,311	35,983,884	△3,125,424	34,883,502

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,529,436	547,779	△84,705	2,992,509	33,546,841
当期変動額					
剰余金の配当					△1,771,684
親会社株主に帰属する当期純利益					6,101,796
自己株式の取得					△939
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,113,889	△333,091	△101,894	△2,548,875	△2,548,875
当期変動額合計	△2,113,889	△333,091	△101,894	△2,548,875	1,780,296
当期末残高	415,546	214,688	△186,600	443,634	35,327,137

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,188,925	8,399,109
減価償却費	1,238,761	1,268,432
減損損失	287,000	34,367
のれん償却額	239,655	96,271
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,469	553
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,169	△156,264
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,980	△27,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30,460	48,841
受取利息及び受取配当金	△79,827	△98,610
支払利息	157	147
持分法による投資損益 (△は益)	—	9,116
固定資産売却損益 (△は益)	△2,975	5,079
固定資産除却損	5,092	51,991
投資有価証券売却損益 (△は益)	△488,493	△2,750,170
関係会社株式売却損益 (△は益)	285,629	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△15,898	△13,972
保険解約損益 (△は益)	△53,726	△98,594
売上債権の増減額 (△は増加)	△198,559	△131,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△250,164	△447,544
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	199,695	49,003
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,508	68,424
未払金の増減額 (△は減少)	350,251	△22,181
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	257,945	110,121
その他	△177	289,400
小計	7,082,877	6,684,566
利息及び配当金の受取額	83,626	85,858
利息の支払額	△157	△147
法人税等の支払額	△1,597,033	△1,464,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,569,313	5,305,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21,281	△782,296
有形固定資産の取得による支出	△1,106,467	△1,183,509
有形固定資産の売却による収入	15,996	236
無形固定資産の取得による支出	△156,262	△143,383
無形固定資産の売却による収入	5,175	—
資産除去債務の履行による支出	—	△13,000
投資有価証券の取得による支出	—	△202,443
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,134,633	2,970,948
投資事業組合分配金による収入	39,460	25,760
保険積立金の積立による支出	△35,465	△34,327
保険積立金の解約による収入	134,646	172,257
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	133,642	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	144,077	810,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△349	△939
配当金の支払額	△1,146,204	△1,772,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,146,553	△1,773,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,602	△255,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,576,439	4,086,171
現金及び現金同等物の期首残高	7,456,408	12,032,847
現金及び現金同等物の期末残高	12,032,847	16,119,018

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製造販売体制を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「サージカル関連製品」、「アイレス針関連製品」、及び「デンタル関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主 要 製 品 等
サージカル関連製品	針付縫合糸、手術用機器
アイレス針関連製品	手術用針付縫合糸用針、手術用縫合針
デンタル関連製品	歯科用根管治療機器、技工用研削・研磨材、歯科用回転切削機器、 歯科材料、歯科用実体顕微鏡

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に製造原価に基づいております。

なお、資産については、事業セグメントに配分していませんので、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2017年9月1日 至 2018年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,729,743	5,937,507	9,435,509	20,102,760	—	20,102,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	163,202	—	163,202	△163,202	—
計	4,729,743	6,100,710	9,435,509	20,265,963	△163,202	20,102,760
セグメント利益	1,354,267	2,260,515	1,465,473	5,080,255	—	5,080,255
その他の項目						
減価償却費	246,878	600,355	391,526	1,238,761	—	1,238,761
のれん償却額	—	—	239,655	239,655	—	239,655

- (注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2018年9月1日 至 2019年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,444,633	5,754,288	7,128,375	18,327,297	—	18,327,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	194,768	—	194,768	△194,768	—
計	5,444,633	5,949,057	7,128,375	18,522,066	△194,768	18,327,297
セグメント利益	1,802,667	2,269,559	1,792,952	5,865,180	—	5,865,180
その他の項目						
減価償却費	270,357	572,228	425,846	1,268,432	—	1,268,432
のれん償却額	—	—	96,271	96,271	—	96,271

- (注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自2017年9月1日 至2018年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州		アジア		その他	合計
		内、ドイツ	内、中国				
4,359,484	1,500,767	6,833,507	3,428,299	6,032,847	2,999,110	1,376,153	20,102,760

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	欧州	アジア		合計
		内、ベトナム		
3,410,508	69,797	7,386,393	7,081,825	10,866,698

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自2018年9月1日 至2019年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州		アジア		その他	合計
		内、ドイツ	内、中国				
4,678,951	1,460,914	4,188,820	1,125,961	6,654,714	3,717,556	1,343,896	18,327,297

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	欧州	アジア		合計
		内、ベトナム		
3,551,985	83,651	6,922,331	6,587,339	10,557,969

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連セグメント名
国科恒遠（北京）医療科技有限公司	2,095,669	デンタル関連製品

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2017年9月1日 至2018年8月31日）

(単位：千円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
減損損失	—	—	287,000	—	287,000

当連結会計年度（自2018年9月1日 至2019年8月31日）

(単位：千円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	34,367	34,367

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2017年9月1日 至2018年8月31日）

(単位：千円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	239,655	—	239,655
当期末残高	—	—	364,194	—	364,194

当連結会計年度（自2018年9月1日 至2019年8月31日）

(単位：千円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	96,271	—	96,271
当期末残高	—	—	255,763	—	255,763

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)		当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	
1株当たり純資産額	340.83円	1株当たり純資産額	358.92円
1株当たり当期純利益	38.31円	1株当たり当期純利益	61.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 当社は、2019年7月4日開催の当社取締役会の決議に基づき、2019年9月1日付で株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,770,877	6,101,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,770,877	6,101,796
期中平均株式数(千株)	98,427	98,426

(重要な後発事象)

株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更

当社は、2019年7月4日開催の取締役会において、次のように株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行なうことを決議し、実行いたしました。

(1)株式分割の目的

投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整えるため、株式分割により投資単位を引下げ、当社株式の流動性向上及び投資家層の拡大を目的とするものであります。

(2)株式分割の概要

①分割の方法

2019年8月31日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2019年8月30日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	35,637,000株
今回の分割により増加する株式数	71,274,000株
株式分割後の発行済株式総数	106,911,000株
株式分割後の発行可能株式総数	356,400,000株

③分割の日程

基準日公告日	2019年8月9日
基準日	2019年8月31日
	※同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2019年8月30日
効力発生日	2019年9月1日

④1株当たり情報に及ぼす影響額

当該株式分割による影響額については、「1株当たり情報」に記載しております。

(3)株式分割に伴う定款の一部変更

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条2項の規定に基づき、2019年9月1日をもって、当社定款第7条の発行可能株式総数を変更いたしました。

②定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更後定款
第2章 株式 (発行可能株式総数)	第2章 株式 (発行可能株式総数)
第7条 当社の発行可能株式総数は、 <u>118,800,000株</u> とする。	第7条 当社の発行可能株式総数は、 <u>356,400,000株</u> とする。

③定款変更の日程

効力発生日	2019年9月1日
-------	-----------

(4)その他

①資本金の金額の変更

今回の株式分割に際して、当社の資本金の額に変更はありません。

②配当について

今回の株式分割は、2019年9月1日を効力発生日としておりますので2019年8月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

4. その他

(1) 役員の変動

<2019年10月10日付>

①代表執行役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・昇格執行役

執行役専務 齊藤雅彦 (現 執行役)

<2019年11月22日付>

①代表執行役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役 矢野達司 (現 国際紙パルプ商事 (株) 社外取締役)

(注) 矢野達司氏は、社外取締役の候補者であります。

・退任予定取締役

取締役 酒井清 (元 (株)リコー取締役)

(2) その他

該当事項はありません。